

中国 2024年の生食用ブドウ輸出量が史上最高を記録

[PRODUCE REPORT 2025年3月6日](#)

中国税関総署のデータによると、中国の2024年の生食用ブドウの輸出量が59万3,562トン、輸出額が9億2,780万ドルに達し、2023年と比較してそれぞれ22.80%及び14.04%増加し、輸出量は史上最高を記録した。ただし、1kg当たりの輸出価格は1.56ドルで、前年比7.14%低下した。

東南アジアは中国の生食用ブドウの主な輸出先であり、ベトナム、タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシアが上位の輸入国にランクされている。2024年にベトナムは15万1,525トン(2億5,955万ドル相当)、タイは12万8,114トン(1億9,778万ドル相当)を輸入した。両国とも、中国産生食用ブドウへの需要が高い。これらの国では、大規模な人口と広範な消費者市場が大きな消費を牽引している一方、国内のブドウ産業は比較的發展が遅れていて国内の需要を満たすことができず、このことが市場のギャップを埋めるための輸入への依存を助長している。

輸出先の中で10位にランクインした香港は、その輸出データがやや独特であった。輸入量がわずかに1万2,868トンと比較的少ないにもかかわらず、輸入額は2,996万ドルに達し、輸出単価は2.33ドル/kgで、他の主要な輸出先よりも大幅に高くなっている。これは、香港に送られる生食用ブドウの品質が高いためであり、プレミアム果実に対する香港の消費者の需要と一致し、他よりも高い価格で販売することを可能にしている。

輸出実績の面では、雲南省が際立っており、輸出量15万2,600トン、輸出額2億5,373万ドルで、量と金額の両方で上位にランクされている。雲南省は、豊富な日照、ブドウ栽培に適した温度と湿度、根の成長と栄養素の吸収を促進する土壌など、その独特な自然条件の恩恵を受けており、ブドウ栽培に理想的な環境を作り出している。さらに、雲南省のブドウ産業は高度に発達しており、植え付けから収穫、調製、輸出までの一連の確立された産業により、高品質な生食用ブドウの安定供給を確保している。

雲南省のほか、福建、山東等の他の省でもかなりの輸出量があった。福建省は輸出量6万1,427トン、輸出額9,536万ドル、山東省は5万7,193トン及び8,932万ドルであった。これらの省は、国際市場の要件をよりよく満たすブドウ品種の育種に多額の投資を行うなど、ブドウ産業の発展において特徴的な強みを有している。さらに、広範な販売ネットワークを確立し、国際市場の積極的な開拓に成功したことが、これらの省の輸出実績の重要な要因となっている。

中国の生食用ブドウの輸出の伸びは、いくつかの要因に帰することができる。第1に、継続的な生産の増加が輸出の強固な基礎を築いた。第2に、貿易関係の深化により、生食用ブドウの輸出のための幅広い基盤が生まれた。中国は、地域的な包括的経済連携(RCEP)協定を始めとして、複数の国と貿易協力を積極的に確立しており、関税と貿易障壁を引き下げることで、中国とASEAN加盟国との間の生食用ブドウの貿易にとってより有利な政策環境を作り出した。最後に、オフシーズンの供給の利点も、中国の生食用ブドウの輸出の成長に貢献している。中国の広大な領土は複数の気候帯にまたがっており、地域によってブドウの収穫時期が異なる。さらに、高度な農業技術とコールドチェーンによる物流の発展により、オフシーズンのブドウの生産と供給が容易になった。南半球のブドウ生産がオフシーズンに入る時、中国産のブドウは市場の品不足を効果的に埋めることができる。

執筆者: ジン・ザン

この英文記事は中国語からの翻訳である。元の記事は[こちら](#)